

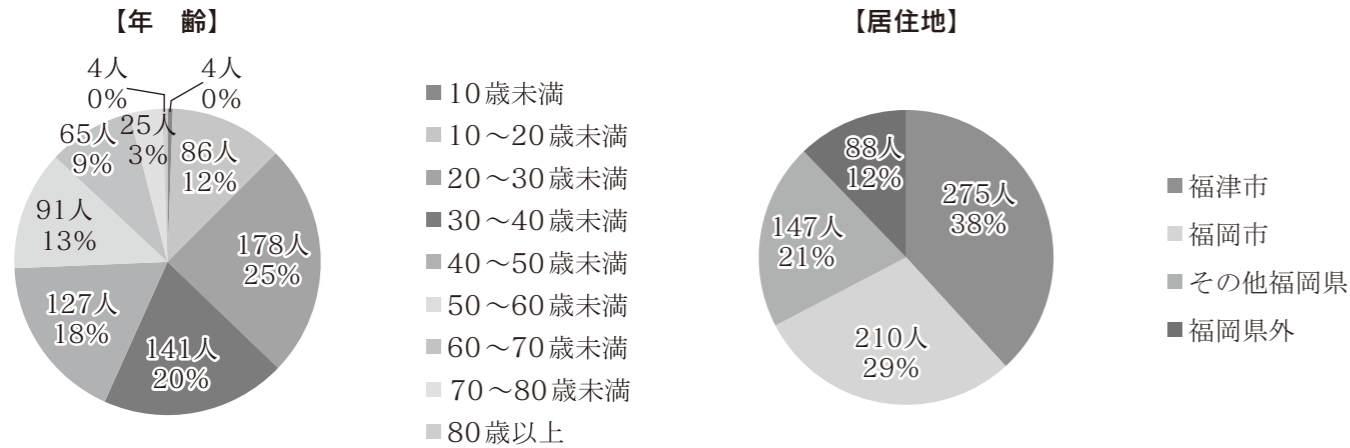
3. 会員登録状況

(1) 登録者数について

登録者数は、福岡駅 495 人、なごみ 217 人、サンピア福岡 9 人で合計 721 人でした。

(2) 登録者の属性について

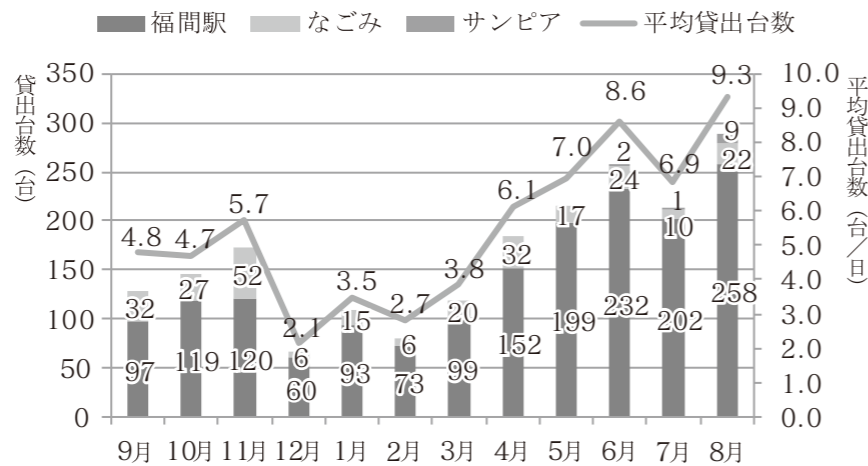
登録者の性別は男女半々、年齢は各年代にばらつきがありました。職業は一般が 8 割を占め、居住地は市内が約 4 割を占めています。



4. 貸出状況

貸出台数について

貸出台数は合計 1,979 台で、福岡駅が多く利用されました。貸出場所と異なるポートへ返却する相互利用が合計 119 台ありました。1日当たりの平均貸出台数は、5.4 台でした。



5. 利用特性

(1) 利用頻度

利用頻度は1回が約 6 割、2 回以上のリピーターが約 4 割でした。5 回以上の利用も 11%あり、最大利用回数は 160 回でした。

(2) 利用時間

平均利用時間は 5.3 時間でした。福岡駅は平均 5.6 時間、なごみは平均 3.6 時間で、福岡駅の方が長時間利用されていました。

(3) 行動範囲

平均移動距離は約 14.3km でした。行動範囲は市内中心部や海岸沿いが多く、宗像市や古賀市への利用もみられました。

(4) 目的別行動範囲

通勤目的：福岡駅～サンピア福岡間の利用が多い
 業務目的：福岡駅の西側やなごみ周辺が比較的多い
 買い物目的：商業施設が集積している福岡駅周辺が多い
 観光目的：福岡駅周辺やなごみ周辺、海岸沿いの利用が多く、広範囲にわたっている



「ふくつコミュニティサイクル社会実験」の結果をお知らせします

●市都市計画課（津屋崎庁舎）

平成23年9月から平成24年8月にかけて実施した「ふくつコミュニティサイクル社会実験」について、その結果がまとまりましたので、お知らせします。

なお、実験結果の詳しい内容については、市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

1. 社会実験の目的

市では、低炭素社会実現のための施策の一環として、自転車利用の促進を図るために、コミュニティサイクルの社会実験を実施しました。この実験は、実験期間中の利用状況やアンケート調査などを通して、利用実態ならびに利用者の意見を把握し、福岡市にふさわしいコミュニティサイクルのあり方を探るとともに、市民や市を訪れる人たちにとってより良いコミュニティサイクルの仕組みを構築する基礎資料とすることを目的として、実施しました。

2. 社会実験の概要

実験期間	平成23年9月4日～平成24年8月31日	
貸出場所(サイクルポート)	JR福岡駅みやじ口第2号自転車駐車場	6:00～22:00
および運営時間	市まちおこしセンター津屋崎千軒なごみ	9:00～20:00
	サンピア福岡(平成24年6月1日開始)	9:00～20:00
対象者	高校生以上。ただし、中学生以下は保護者同伴の場合のみ利用可能	
貸出自転車	電動アシスト付自転車20インチ 32台(うちチャイルドシート付電動アシスト自転車2台)	
登録方法	サイクルポートにて身分証明書を提示し、申請書を記入した後、会員証を発行。登録料は無料	
利用料	1日1回 200円	

7月1日から「ふくつコミュニティサイクル」を本格実施します

【問い合わせ】
 市都市計画課(津屋崎庁舎)
 ☎52・4956

1. 検証結果を受けて

昨年9月より暫定実施していた「ふくつコミュニティサイクル」について、今回の検証結果の報告をもとに、コミュニティサイクルの事業効果や採算性、利用者の負担のあり方、自転車の管理方法などの課題について、さまざまな検討を行いました。

その結果、コミュニティサイクルは CO₂ 削減、交通利便性の向上や行動範囲の拡大、観光振興などのまちの活性化への貢献などさまざまな効果があり、コミュニティサイクル事業の継続は、市にとって有意義であると判断しました。しかしながら、事業の採算性をできるだけ確保し、行政負担の軽減に努めることも必要と考えます。将来的には民間事業者などが主体となった運営体制を構築することなどを検討しながら、環境にやさしいまちづくりを目的として、コミュニティサイクル事業を継続し、7月1日より下記の内容にて本格実施します。

料金については、利用実績や事業に必要な経費を考慮して、1日1回300円に設定します。加えて、宿泊客のかたなども気軽に利用できるよう、1泊2日700円の料金を新設します。

2. 本格実施の内容

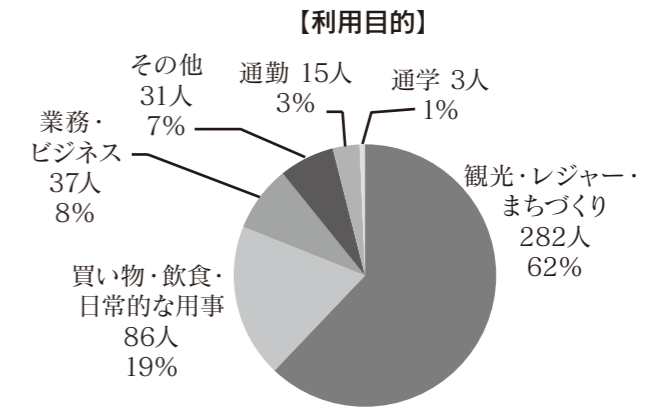
本格実施開始日	7月1日(月)		
貸出場所(サイクルポート)	JR福間駅みやじ口第2号自転車駐車場	6:00~22:00	
および運営時間(下図参照)	市まちおこしセンター津屋崎千軒なごみ	9:00~20:00	
	サンピア福岡	9:00~20:00	
対象者	高校生以上。ただし、中学生以下は保護者同伴の場合のみ利用可能		
貸出自転車	電動アシスト付自転車20インチ 32台(うちチャイルドシート付電動アシスト自転車2台)		
登録方法	サイクルポートにて身分証明書を提示し、申請書を記入・提出した後、会員証を発行。登録料は無料		
利用料	(旧料金) 1日1回 200円	⇒	(新料金) 1日1回 300円
	1泊2日 なし	⇒	1泊2日 700円



6. アンケート調査結果

(1) 利用目的

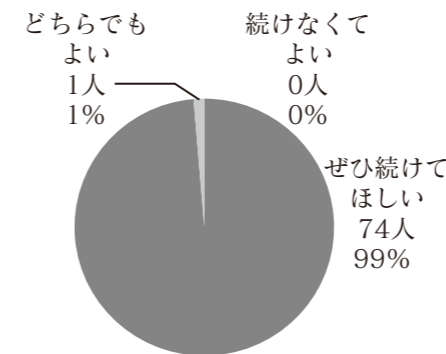
利用目的は「観光・レジャー・まちめぐり」が約6割で最も多く、通勤、通学、買い物などの利用も約3割ありました。



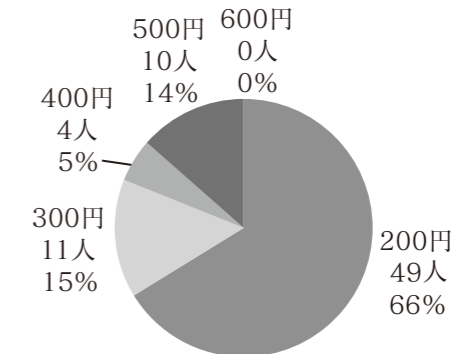
(2) 今後の利用意向

今後も続けてほしいとの回答がほとんどを占め、利用者からは事業継続が望まれています。利用料金の許容範囲は、選択肢の中で最も安い料金がそれぞれ多く選択されており、できるだけ安価な料金が希望されています。

【コミュニティサイクルの継続意向】



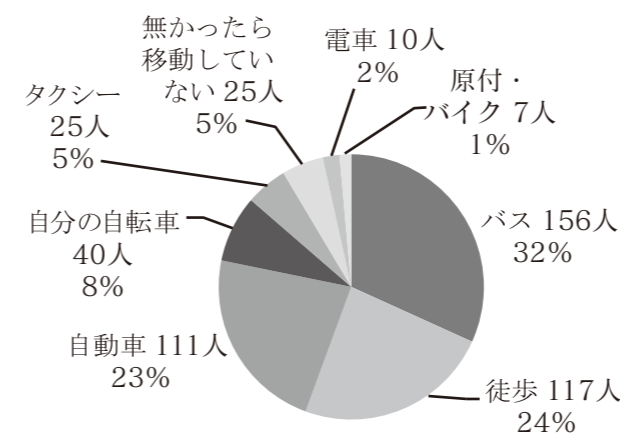
【支払っても良い利用料金】



7. 社会実験の効果検証

アンケート調査結果では自動車からの転換が23%ありました。これを元に試算すると、社会実験により二酸化炭素排出量が約1.59t-CO₂削減されました。これを80年生スギに換算すると約0.2ha、約108本分の吸収量に該当します。また、コミュニティサイクルを利用したメリットとして、行動範囲の拡大や立寄り先の増加などが挙げられており、地域の活性化へ寄与したと考えられます。

【未実施の場合の移動手段】



【CO₂削減量】

走行距離	km	14.2
自動車からの転換率	%	23
貸出台数	台/年	1979
自動車原単位	g-CO ₂ /km	245.7
CO ₂ 削減量	t-CO ₂	1.59

【80年生スギ換算】

80年生スギ人口林1haあたり年間吸収量	t-CO ₂ /ha	7.8	※
面積換算	ha	0.2	
1haあたり本数	本/ha	533.3	※
本数換算	本/ha	108.6	

※環境省林野庁資料を元に設定